学校番号	122

平成31年度　　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	化基316「新版化学基礎 新訂版」　（実教出版）						
副教材等	高校化学基礎カラーノート 改訂版（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学は積み重ねの科目です。最初に学んだ事が最後まで関係してきます。1回1回の授業を大切にして、3年間の化学の基礎になる知識や考え方を学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

全ての物質は原子からできており、その種類によって性質が異なること、原子の結合の種類によって結晶の性質が異なっていること、化学反応には量的関係があること、酸・塩基、酸化還元においても量的関係が成り立つことに気づき、化学と日常生活や社会との密接な関係を理解し、化学的に探究する能力と態度を育み、科学的な見方や考え方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見いだし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	物質の構成	**物質の種類と性質**			○		a:物質を構成する粒子、物質の分離精製方法に関心をもち、意欲的に探求しようとする。 b:各元素特有の性質に着目し、その見分け方を考察し、導き出した考えを表現している。 c:物質の分離精製に関する実験を行い、化学的に探求する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:原子・分子・イオン・周期表について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探求活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		物質と元素		○				
		物質の三態と熱運動	○					
		原子の構造	○					
		イオンの生成				○		
		周期表				○		

1学期	物質と化学結合	イオン結合				○	a:化学結合の種類と結晶の性質に関心をもち、意欲的に探求しようとする。 b:様々な金属の性質について科学的に考察し、導き出した考えを表現している。 c:様々な結晶の観察を行い、結合の種類と結晶の性質について考察し、観察結果を的確に記録、整理している。 d:結合の種類と結晶の性質の関係を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探求活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		イオン結晶	○					
		共有結合と分子間力				○		
		共有結合からなる物質				○		
		金属結合		○				
		金属	○					
		結晶の分類			○			
		化学結合と身のまわりの物質	○					
2学期	物質の変化	原子量と分子量・式量				○	a:物質量・化学反応・pHに関心をもち、意欲的に探求しようとする。 b:酸・塩基の定義を、自身の経験から科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c:中和実験を行い、酸・塩基の濃度と中和について化学的に探求する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:物質量・気体の体積・質量の関係を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探求活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		物質量				○		
		溶液の濃度		○				
		化学反応式				○		
		酸と塩基		○				
		水素イオン濃度とpH	○					
		中和反応と塩			○			
3学期		酸化と還元				○	a:錆や漂白剤について知識を基にその性質を考え、意欲的に探求しようとする。 b:反応するものとしないものの違いを考察し、導き出した考えを表現している。 c:電池の実験を行い、その方法を習得し、結果を記録、整理している。 d:酸化還元の定義を理解している。	学習状況 探求活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		酸化剤と還元剤	○					
		酸化還元反応の起こりやすさ		○				
		身のまわりの酸化還元反応			○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。